

企画シート （区民会議として何ができるのか）

斜字は、第1回課題調査部会での内容を参考に記載したものです。

企画名	地域特性をふまえた防災イベントを行おう
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で防災への理解を深め、防災活動に関わる人を増やす ・地域での連携体制をつくる ・地域の避難経路の周知徹底を図る（岡本副部長） ・地域住民全員に防災意識を根付かせ、有事の際の行動基準を徹底する（青木委員）
誰に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動の関係者 ・中学生 ・町内会の役員等、婦人部（岡本副部長） ・地域住民全員（又は隣組の組長・副組長）（青木委員） ・保護者（PTA）（中森委員）
どのような場所、地域で	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、避難場所、地域の広場（岡本副部長） ・避難所、広域避難場所（青木委員） ・避難所となり得る中学校や近くの大き目の公園など、多くの人が集まりやすい場所。（但野委員） ・避難場所や町内会館など（中森委員）
何をするか	<ul style="list-style-type: none"> ・地域特性をふまえた災害図上訓練（DIG）を、ワークショップなどを交えながら実施する。 ・防災資器材を活用したイベント（ゲーム）などを実施する。 ・子ども（中学生）を対象とした訓練（DIGなど）を実施する。 ・地域の確認（道路・家）、避難所まで歩いてみる（岡本副部長） ・避難、誘導の実務訓練（青木委員） ・地域活動関係者などを主に、幅広い地域の方々が聞けるような講座を設ける。（地学の先生などにも参加して頂く） →その地区の地形（川や用水沿い）で実際に起こり得る危険性の知識・地域の地質や地盤に基づいた知識を得て、それを伝えられるような講座を行い、しっかりした報告書を配布する。（但野委員） ・中学生を対象として、自校に備えられている防災備品などの置き場所・使い方を地域の方と共に学ぶ機会を持つ。 →いざとなった時、先生や大人のみでの管理下だけでは、中学生の行動力が発揮されないため。（但野委員） ・中学生が援助できる地域の弱者（赤ちゃん・幼児・障がいのある方・お年寄りなど）について考えてみる。（自宅周辺にはどんな方がいるか考えてみる）（但野委員） ・DIGなどによる中学校区内の危険箇所・安全な場所の確認 →今までやっていた、生徒たちの気付きによる危険箇所地図作りの他、その地区の地形（川や用水沿い）で実際に起こり得る危険性・地域の地質や地盤に基づいた知識を得た上での、危険箇所や起きたときの対策などを考えてみる。

	<p>(この地域は元々沼が多く、地盤が弱いと聞いています。液状化しそうな箇所を出すのは、余波もあり難しいと思いますが、液状化した時の危険性や、身近かな用水路や多摩川などに、どのような対策工事がされていて、水位が上がってもこのくらいなら大丈夫など、安全面での知識も得てほしい。)(但野委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園地下に水の水路を設ける工事をあちこちでしていたのは、みんな知っているが、それがどのような効果をもたらすものかという事が知られていない。 →川崎市・中原区で行ってきた防災対策とその使われ方や効果について、なども教えてほしい。(但野委員) ・福祉健康まつり、こども未来フェスタ、ふるさと交流フェスティバルなどの既にあるイベント内で、それぞれのイベントに関連させて、防災関連のイベントを行う。区民会議のPRにもなる。(橋本貞子委員)
<p>実行にあたり 連携する人、 団体など</p>	<p>各中学校区の地域教育会議を中心とした、学校・町会・地域の方々(但野委員)</p>

事務局による整理

【前提】

- ・新しい区民や若い人、中学生を交えた企画にする
- ・地域のさまざまな組織、自主防災組織の啓発につなげる

【企画構成】

- ・ワークショップ(DIG)をどのように行うか
- ・講演会をどうするか
- ・+αの企画をどうするか
 - ワールドカフェ(交流・意見交換) / 食改との企画(非常食などの企画)
 - ／事例紹介など既存の情報展示

【検討事項】

- ・開催規模、開催時期、開催時間(何時間のイベントにするか)

企画シート （区民会議として何ができるのか）

斜字は、第1回課題調査部会での内容を参考に記載したものです。

企画名	活発な活動をしている自主防災組織をもっとひろめよう
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織の取組みは地域毎に差があるので、先進的な取組をしている事例をもっと知ってもらう ・避難所（小中学校）との連携を深める ・中学校区避難所運営会議加入団体のレベルを平準化する（青木委員）
誰に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災に取り組む人たち ・町会の関連する人（意欲のある人）（岡本副部会長） ・区民全員（最低一家の代表）（橋本貞子委員）
どのような場所、地域で	<ul style="list-style-type: none"> ・各事例発表などで全体の人が集合できる場所（役所など）（岡本副部会長） ・各中学校区の避難所（青木委員） ・町内会館や区役所など（中森委員） ・学校、町内会自治会の集会場など（橋本貞子委員）
何をするか	<ul style="list-style-type: none"> ・先進事例を紹介する ・中原区、川崎市だけではなく全国で参考になる事例を紹介する。（岡本副部会長） ・多種目の防災訓練の実施（青木委員） ・福祉の災害マップの作成と安否確認、救出、避難誘導體制の構築（青木委員） ・先進事例を各町会長や防災部長に紹介し、取組意識を高め、全町会が同一レベルになるよう目指す。（橋本貞子委員）
実行にあたり連携する人、団体など	

企画シート （区民会議として何ができるのか）

斜字は、第1回課題調査部会での内容を参考に記載したものです。

企画名	防災情報をもっと区民に伝えよう！（外国籍の方にも伝わる配慮をしよう）
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな世代に向けた防災情報の発信をおこなう ・外国籍の市民の方にも防災情報の提供をおこなう ・被災の臨場感を体験する（青木委員） ・防災に対する市民の意識高揚と被害防止を図るため（橋本満昭委員）
誰に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・一般の区民 ・外国籍の方 ・第一段階として、自主防災に関わる人（青木委員） ・企業や商店を含む市民（橋本満昭委員）
どのような場所、地域で	<ul style="list-style-type: none"> ・中原市民館（青木委員） ・区役所や保健所、市民館、図書館、市民活動センター及び公園、入国管理局など（但野委員） ・区役所や入国管理局、国際交流センターや識字学級（市民館）など（中森委員） ・区役所（橋本貞子委員） ・区役所や市民が多く集まる場所（橋本満昭委員）
何をするか	<ul style="list-style-type: none"> ・区役所などの1階に、既存の防災資料を集めたコーナーを作る ・外国籍の方が住民票を取りに来る時に、資料を渡す ・資料自体も外国の方に伝わる表現になっているかを見直す ・東日本大震災で被災された方に直接体験談を聞く（語り部でもよい）（青木委員） ・区役所の職員が居住地域の把握やご本人に居住区の情報が伝わるパンフレットを手渡す。（但野委員） ・市民館・図書館・市民活動センター・国際交流センターなどに、防災・外国語パンフのコーナーを設けて貰う・置いてもらう。また、その存在を伝えてもらう。（但野委員） ・国際交流センターの大きなイベントに出向き、コーナーを設けての資料の配布や簡単な説明などをする。（但野委員） ・入国管理局など、生活に必要なものとして、防災や地域の事が分かるものを手渡す。→地域毎の外国の方用のパンフレットをまとめたものを区の封筒に入れて用意し、手渡してもらう。（但野委員） ・公園や学校など防災設備・給水ポイントなどがある所に、外国からの方でもわかるような表示を増やす。（但野委員） ・転入届けのみなさんへ区のガイドブックや防災資料を渡す。（中森委員） ・外国籍の住民によくわかってもらうため、その国の言葉で表示する。（橋本貞子委員） ・防災コーナーを設置し、防災組織の活動報告や、市・区役所などで発行している防災に関するパンフレットや印刷物を展示するとともに、持ち帰りコーナーを設け、必要なパンフレットなどを持ち帰ってもらい、防災意識の高揚を図る。（橋本満昭委員）
実行にあたり連携する人、団体など	<ul style="list-style-type: none"> ・区役所職員（但野委員） ・市民館・図書館・市民活動センター・国際交流センター（但野委員） ・入国管理局など、管轄の違う公務員の方々に「住民からの必要性の声」を伝えて頂き、うまく連携を取れるようにして欲しい。（但野委員） ・町内会自治会、防災組織、企業、商店街、消防署、区役所（橋本満昭委員）

企画シート （区民会議として何ができるのか）

企画名	防災対策用個人カードの作成（橋本満昭委員）
目的	防災対策用個人カードを作成し、市民に携帯してしてもらい、災害時等に役立ててもらう。
誰に向けて	市民
どのような場所、地域で	配布（防災組織・自治会）持ち帰り（防災コーナー）
何をするか	<p>平常時の災害用物品管理を兼ねた、個人情報カードを作成する。</p> <p>災害時に万一被災した場合、救助者に病名等の情報などを知らせ、役立ててもらう。</p> <p><記載項目></p> <p>*表 面 氏 名・生年月日・住 所・電話番号・血液型・ 治療中の病気・かかりつけ医・緊急連絡先（家族・親戚等）など</p> <p>*裏 面（本人が平常時管理） 備蓄物品 品 名・数 量・備蓄場所など （消火器・火災警報器などは、有効期限や購入店など）</p>
実行にあたり連携する人、団体など	区役所、消防署、自治会、防災組織、商店街

ふりがな 氏 名	()	治療中の 病 気	病気のことなど
生年月日	年 月 日	かかりつけ 病 院	電話 ()
血液型	型(RH 十・一)	治療中の 病 気	
住 所	川崎市中原区	治療中の 病 気	
電 話	自宅 044() 携帯	かかりつけ 病 院	電話 ()
	緊急連絡先	保 険 証	種類 番号
氏 名		介 護 保 険	認 定 認定年月日 年 月 日 ケアマネージャー
住 所		障 害	種 類 等 級 手帳番号
電 話	()	そ の 他	
あなたとの関係			
氏 名			
住 所			
電 話	()		
あなたとの関係			

← 表面

一時避難場所		避難所	
広域避難場所			

↓ 裏面

備蓄品等

品 名	容 量	数 量	賞味(有効)期限	購 入 店	電 話 番 号
食 品 等					
乾パン			・ ・		
缶詰			・ ・		
レトルト食品 ごはん			・ ・		
おかず			・ ・		
インスタントラーメン			・ ・		
飲料水			・ ・		
粉ミルク			・ ・		
離乳食			・ ・		
衣 類 等					
下着・靴下					
毛 布					
タオル 大・小					
医 療 品 等					
薬(切り傷治療など)			・ ・		
三角巾・ガーゼ					
そ の 他					
懐中電灯(電池)			・ ・		
携帯ラジオ(電池)			・ ・		
初 期 消 火 関 係					
消火器 A			・ ・		
" B			・ ・		
" C			・ ・		
火災警報器			・ ・		

企画シート （区民会議として何ができるのか）

企画名	中原区 地域の防災施設・防災用品の紹介マップを作る（但野委員）
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域にある防災用品について、地域の人に知らせる。 ・ 中原区の防災状況を明らかにすることにより、防災担当者の意識を高める。
誰に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民や子どもたち ・ 地域の防災に取り組んでいる方々
どのような場所、地域で	
何をするか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 給水マップのような形で、中原区内の公園にある防災設備と簡単な使い方などを紹介するような写真入りパンフレットを作る。（配布の他、ポスターとして貼る。） →いくつかの公園で、地下工事をしていたり、ベンチが消防ホース格納庫になっていたりしているのを見たことがある。どこにどんな工夫がしてあるかという紹介は、知恵として楽しい防災知識にもつながるものなので、活用してゆくと良いのではないかと思う。情報を整理していくことにより、地域住民にも今自分が住んでいる地域に足りないもの、必要なものが分かりやすくなると思います。そこから地域によって防災公園の必要性など、問題点も出てくるかもしれません。 ・ 区内で出している各種お便りや、こども支援室で出している「子育て情報誌」「子ネット通信」などにも情報を載せたり、その存在と配布したことを告知してもらう。 ・ 外国の方向けの防災パンフレットに入れ込む。 ・ 保育所や学校で防災週間などと掛けて意識の高い時期に配る。 →配る際にこんな情報が載っている旨伝え、おうちの人と地域の公園で確かめて等、興味を持ってもらえるような配布をお願いします。 保育所や幼稚園では、保護者会で、ひと言「防災についてのパンフレットなのでご活用ください」を付け加えて頂くだけで、お蔵入りは相当防げます。
実行にあたり連携する人、団体など	

企画シート （区民会議として何ができるのか）

企画名	子育て講演会（親子防災）を開催する（青木委員）
目的	・子育て中の母親に防災の心構えを伝え、有事に備える
誰に向けて	・子育て中（0～3歳児）の親を対象とする
どのような場所、地域で	・区役所会議室（保育できるスペースが必要）
何をするか	・東日本大震災で乳幼児を抱えて被災された母親のリアルな体験談を伝え、防災への心構えを持ってもらうため、親子防災講演会を開催する。（丸子地区などは、10月10日にロー紀子氏を招いて開催）
実行にあたり連携する人、団体など	中原区子育て支援推進実行委員会